

「キュートナーをめざして」

(第五十三回)

アテネオリンピックピックのアーチェリーで、41歳の山本博選手が銀メダル。凄い中年がいるもんだ。

不惑を超えたオヤジのパワーで、勇気づけられたミドルエイジも多いはず。

さて、音楽で人々を奮い立たせ、鼓舞する人がいる。ちよつど、

鼓を打って舞いを舞うように。関西が生んだ作曲家で、「喝采」や「北酒場」など数々のヒット曲を作った中村泰士さんである。いろんなイベントで「シニア世代！もつと元気を出そうよ」と、ユニークな運動を盛り上げてきた。

その二つが「シニアーズDAY(大人の日)」。語呂合わせから、4月28日を記念日にと呼びかけ公式に認定された。さらに、いつまでも若々しさを失わず、粋いさでキュートな大人を「キュートナー」

と呼ぶことを提唱している。なかなかお洒落なアイデアで、9月17日が「キュートナーの日」になるという。

現代は、ストレスフルな社会だ。シニア世代は、自分たちの進むべき方向性を見失い、

考えるゆとりを失ってしまっている。こんなとき

には、理屈なしに歌を楽しむのが大切。

思い起こせば、60歳代は口カビリーエイ

ジ、40〜50歳代はビートルズやフォー

クなど。日本人の心情に合う演歌を

好む人も数多い。ジャンルは違っても、音

楽で心が癒されるのは万国共通だ。

そういえば、かつてオリンピックには、スポーツ部

門と芸術部門があり、邦人作曲家もエントリして入賞した

歴史があった。

心身にいい汗かいてがんばろう

シニア世代は、まだまだ若い

(医学博士・内科医師)

健康のススメ

板東 浩